

製造現場・生産管理・生産技術部門に従事する技能者・技術者の方へ。

製造現場で発生するヒューマンエラーの基本的な知識、発生時の対応、防止策などグループ実習を交えて学習します。

製造現場におけるヒューマンエラー 対策と実践的技法 講座

日時	令和8年 12月21日(月)～22日(火) 9:30～16:30 2日間(昼休憩1時間)		
会場	鳥取県中部総合事務所 倉吉市東巖城町2-2 B202会議室		
講師	(株)モア・クリエイト 代表取締役 天方 健二 (あまがた けんじ)氏 [講師プロフィール] ～1988年3月(株)神戸製鉄所 加古川製鉄所 勤務 ・厚板圧延設備の“全自動化”を実現 世界一の“全自動モード適用率”を実現 ・冷延工場“酸洗ライン・タンデムミルの連続化”の前条件を整備 1988年4月～ (株)モア・クリエイト設立 代表取締役就任、工場改善・改革のためのコンサルティング業を開始 ・専門分野：生産管理、生産技術、工場管理手法、実現場の実改善、機械工学・材料工学・弾性学 ・ポリテクセンター関西/加古川 セミナー講師 ・主な現場改善企業：製鉄・鍛造、ガラス製造、重化学工業、LCD製造、大手スーパー、飲料水、特殊鋼製造、文具家具、 鋼材二次加工業、LCDバックライト(台湾)、携帯LCD(フィリピン)、大型LCD(中国)、産廃処理、水道バルブメーカーなど多数		
目的	人の行動が期せずして悪い結果となった場合、その行動を“ヒューマンエラー”と称しています。このエラー行動の対策をその人のみに期待してはいけません。なぜなら、どんなに優秀な人も毎身体調が変わり、毎日考えることも違うから、毎日同じことはできないのです。ヒューマンエラーの行動に至った状況や、エラー行動を知ることは重要ですが、対策は、誰が担当しても間違わない作業にする必要があります。その為に目を向ける方向は、作業方法、作業標準の在り方、作業環境、作業情報、教育訓練、上司の言動、対象設備、設備駆動ソフトウェアにも至ります。 こう考えて原因・対策を探ることで、大切な“担当者の意欲の喪失を免れる”ことができます。「明るい職場を作り乍らヒューマンエラー対策を図る！」この方法を学ぶことが本コースの目的です。		
養成する能力	ヒューマンエラー対策を企画・推進できるのみならず、多様な価値観を持つ人に対する向き合い方(ヒューマンスキル)を向上させる能力		
締切り	令和8年 11月24日(火)15時まで	定員	15名(先着順)
受講料	7,000円/人(テキストを含む)		
持ち物	筆記用具		
申込み 手続き	申込みは[とっとり電子申請サービス](以下のURL)からお願いします。 https://apply.e-tumo.jp/pref-tottori-u/offer/offerList_detail?tempSeq=21736 入力を終了し送信すると受付メールが自動配信されますが、この時点では確定しておりません。 申込を確認し、受付を完了しましたら、申込確定のメールが配信されます。 (定員オーバー等でお受けできない場合もメール連絡されます。) ※後日、ポリテクセンターが発行する請求書等を送付しますので期限までに入金してください。		



講座概要

1. コース概要
(1)ヒューマンエラーを考える
2. ヒューマンエラーとは
(1)ヒューマンエラーの定義
(2)よく採られる12の対策(方向性)
3. ヒューマンエラー発生時の原因・対策とそのコツ
(1)12の原因、12の対策
(2)ヒューマンエラーを追い詰める7つのポイント
4. ヒューマンエラー防止策
(1)ヒューマンエラー対策実践編
(2)ロジカルシンキング(論理的思考)
5. ヒューマンエラーは歴史をも動かす

<鳥取県中部総合事務所会場案内>



《事務局》鳥取県商工労働部雇用人材局産業人材課 担当:岸・中瀬
電話0857-26-7691/メール:sangyoujinzai@pref.tottori.lg.jp